



平成9年度

公営企業会計決算を認定

9月・10月定例会

大阪市会は、平成9年度の公営企業会計（バス、地下鉄・ニュートラム、上水道、工業用水道の4事業）の決算報告などを審議する9月・10月定例会を9月25日に開会しました。

決算報告については、決算特別委員会の審査を経た後、10月20日の本会議においていずれも認定されたほか、その他の案件等の審議をすべて終え、同日、定例会は閉会しました。

なお、追加提案された平成9年度の準公営企業会計（市民病院、中央卸売市場、港営、下水道の4事業）の決算報告については、新たに設置した決算特別委員会に付託し、閉会中も継続して審査することになりました。



一色決算特別委員長の報告

市会の構成(会派別議員数)

定数	90人(欠員1人)
自由民主党	32人
公明	19人
日本共産党	14人
大阪市民連合	13人
民友市民クラブ	10人
無所属市民クラブ	1人

(平成10年10月20日現在)

決算特別委員会の論議から

交通事業では、バスが約4億2,800万円、地下鉄・ニュートラムも約235億4,800万円の赤字となりましたが、これは人件費や減価償却費、支払利息といった資本費の負担がなお経営を大きく圧迫していることによるものです。この結果、交通事業全体の累積赤字は約2,628億円となっています。

一方、水道事業では、上水道が昨年実施した料金改定に伴う給水収益の増加などによって約16億6,000万円の黒字となり、これで約3億円の累積赤字は解消されました。また、工業用水道では、約2億8,100万円の赤字となり、累積黒字が約3億円に減少しています。

これらの決算状況についての決算特別委員会での主な質疑応答の内容は次のとおりです。

経営の効率化

▶質疑◀交通事業での取組みは**経営改善** バス事業では、平成9年度を最終年度とする経営健全化計画に新規の効率化を盛り込み、2年間延長して引き続き実施しており、地下鉄事業でも、現行の経営健全化計画に加えて新規に効率化計画を策定した。また、コスト

削減計画を取りまとめるとともに、新たな視点に立った抜本的な経営改善策についても、昨年11月に設置した公営交通事業改革調査委員会で検討している。

▶質疑◀水道事業での取組みは**着実に 今後とも効率化施策推進** を着実に推進し、できるだけスリムで最大の効果を発揮できる体制づくりをめざしていきたい。また、配水場用地の有効利用については、収益性・採算性の確保、配水場の機能を損なわない利用形態、将来の施設更新整備に制約を与えない配慮の3点を基本にして、有効利用に努めていきたい。

増収対策

▶質疑◀各種チケット・カードの発売と需要の創出は**積極的に スルッとKANSAI 取り組み** AIの参加事業者は、平成11年度には25事業者まで拡大することになっており、このメリットを活かして購入しやすい価格設定の企画乗車券の発売に取り組みたい。レインボーカードへのプレミアムの付加については、各事業者に働きかけを行うなど実現に努力したい。ノーマイカーフリーチケットについても、販売の拡大に努めた

い。需要の創出としては、小型バスや地域に密着したバスサービスなど、新しいバスシステムの構築を公営交通事業改革調査委員会の中で検討していきたい。

サービス改善

▶質疑◀ホームから地上までのワンルート整備は**全駅整備 平成9～13年度に向けて エレベータ110基、エスカレータ30基の整備を進め、全駅でエレベータ又はエスカレータによるワンルート確保をめざしている。9年度末では41駅が未整備となっているが、9年度に着手した工事の完了により10駅で整備される予定で、当初の計画どおり進んでいる。**

▶質疑◀ノンステップバス、低公害バスの導入は**増車に ノンステップバスは努力 引き続き増車に向けて努めていきたい。今年度も11両を増車し、リフト付路線バスと合わせると、ひとにやさしいバスとしては88両になる予定である。また、窒素酸化物の排出量が最新規制値に適合した車両への代替をできるだけ早期に行う計画であり、低公害バスとしては現在33両を運行している。**

新線建設

▶質疑◀地下鉄8号線の整備は**全力で 井高野～湯里6丁目間が平成11年度に国で新規補助採択されるよう取り組んできたが、国の財政状況などから、運輸省の概算要求**

では建設延長12.1kmの井高野～今里間となった。今後は、年末の予算編成で新規補助採択されるよう全力で働きかけていきたい。8号線の整備にあたっては、これまでの新線投資の規模も踏まえながら財政負担の軽減・平準化に努め、長期的には採算性が確保できる見通しをもって取り組んでいきたい。長期収支見通しとしては、一定の条件の下で試算すると、概ね開業後20年頃には単年度収支の均衡が図れるものと考えている。

職員の服務管理

▶質疑◀水道メータにかかる不正事件と再発防止策は**厳正に 10月1日時点で確定 対処 的に不正と判断できたものだけで、メータ取替作業にかかる不正が49件、メータ位置改良工事に関する不正が5件、合計の損害額は34万1,486円である。今後も引き続き調査を継続し、厳正に対処したい。再発防止策としては、服務指導や管理体制、チェック機能などの方策とあわせ、早期に再発防止計画を策定するとともに、研修内容の充実にも努めたい。今回の不祥事は、技能職員に制度的な人事異動がなかったことも大きな要因だと考えている。水道局では、平成8年度以降の新規採用者は定期人事異動を制度的に行うこととしており、今後具体的な異動を実施する予定で、異動対象者の範囲もさらに検討を進める。また、主任等の任命時にも適任者を広く募っていきたい。**

市会広報テレビ番組の放映

私たちと大阪市会 - 公営企業会計決算市会から -
11月5日(木) 午前8時55分～9時25分
テレビ大阪 ch

大阪市会ホームページを開設

9月24日からインターネットにホームページを開設していますので、ぜひご利用ください。
アドレス http://www.city.osaka.jp/shikai/

市会の動き

- <9月・10月定例会>
- 9.18(金)招集告示
- 21(月)・22(火) 常任委員会(事前調査)
- 25(金)本会議<開会>(公営企業会計決算の市長説明等)
- 28(月)決算特別委員会(正副委員長の互選・説明等)
- 29(火)決算特別委員会(実地調査)
- 10.5(月)・8(木) 決算特別委員会(質疑)
- 15(木)・16(金) 常任委員会(請願書・陳情書の審査)
- 20(火)決算特別委員会(態度決定)
- 本会議(公営企業会計決算の認定、準公営企業会計決算の市長説明閉会中継続審査議決等)
- 決算特別委員会(正副委員長の互選・準公営企業会計決算の継続審査の申し出等)
- <閉会>

意見書・決議

- 「大阪府老人医療費助成の現行制度」の存続を求める意見書
- 教育予算の拡充と教職員の定数改善、義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 適正・迅速な裁判の実現を求める決議
- (以上、平成10年9月25日可決)
- 阪神・淡路大震災被災者に係る国会附帯決議に伴う支援措置の円滑な実施を求める意見書
- 臨界前核実験に抗議し核兵器廃絶を求める決議
- (以上、平成10年10月20日可決)

お知らせ

次回の定例会は、11月11日から開会されます。会議日程など詳細については、市会事務局調査課(☎208-8694)までお問い合わせください。

- 公営企業会計決算特別委員会委員 (9月25日～10月20日)
- 委員長 一色 孝之(公明)
副委員長 小笹 正博(公明)
" 紀野 敏明(市民連)
- 有本純子(自民) 足高将司(自民)
黒田輝夫(自民) 石井義憲(自民)
勝田重春(自民) 木下吉信(自民)
加藤 進(自民) 改発康秀(自民)
松原恵子(公明) 待場康生(公明)
中西建策(公明) 矢達 幸(共産)
辰巳正夫(共産) 関根信次(共産)
稲森 豊(共産) 壺井美次(市民連)
神原昭二(市民連) 福山よひる(民友ク)
村上史好(民友ク) 松田 力(民友ク)
(正副委員長は9月28日に互選)

- 準公営企業会計決算特別委員会委員 (10月20日～)
- 委員長 永井 博(自民)
副委員長 船場 太朗(自民)
" 菅井 敏男(公明)
- 玉木信夫(自民) 新堂庄二(自民)
大西宏幸(自民) 大丸昭典(自民)
高野伸生(自民) 多賀谷俊史(自民)
山下典嘉(公明) 浜口晴敏(公明)
小西 実(公明) 高田雄七郎(公明)
瀬戸一正(共産) 姫野 浄(共産)
下田敏人(共産) 井出和夫(共産)
奥野正美(市民連) 岸本節男(市民連)
山本修子(市民連) 鈴木成男(民友ク)
永藪隆弘(民友ク) 勝田弘子(民友ク)
(次回の定例会で一般会計決算と併せて審査予定)